

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890100302
法人名	医療法人佐藤循環器科内科
事業所名	グループホーム朝生田の里
所在地	愛媛県松山市朝生田町4丁目10-25
自己評価作成日	平成21年7月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年8月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者のほとんどが透析患者のため、食事・水分・運動制限のある生活をされている。好物の飲食の制限や週に3日透析治療を受けなければならないなど、日々の楽しみが奪われる中で、今年は利用者に少しでも楽しく、有意義に積極的に居室からリビングへ、リビングから外へ、敷地から地域へ、と生活の場を拡張して頂けるように、個々の希望を取り入れて毎月の行事に併せ、日曜日の行事などのレクリエーションに力を入れている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

運営推進会議では、今年目標である「レクリエーション」への取り組みについて話し合わせ、出席者からいろいろなアイデアや提案をいただいている。例えば、地域の方から、新たにできた近所の公園のことを教えていただき、利用者と一緒に散歩に行かれるようになったり、又、出席者からの紹介でママさんコーラスの方々が来てくださるようになった。
入居の際には、生活歴等、ご家族にもお聞きし、又、日々、利用者が発する言葉や行動を記録に残して、思いの把握に努めておられる。事業所では、「思いの把握は、ゴールがあるものではなく、絶えず把握していくものだ」との考えのもと、利用者個々の希望や意向を探り続けていきたいと話しておられた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム朝生田の里

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏名 若藤 靖子

評価完了日 平成21年 7月 30日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			3つの理念を掲げスタッフが共有し地域との交流を増やせるように実践に繋げている。	
			(外部評価)	
			「尊厳の保持 自立支援 地域との密着」という理念をもとに、地域の方々と交流する機会を作り、認知症の理解をすすめる等、事業所の専門性を活かして情報発信していきたいと考えておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			お花見夏祭り、運動会などの行事を通して地域とのつながりの場を作り交流している。散歩や買い物で出会うと挨拶交わすようになった。	
			(外部評価)	
			回覧板を利用者と一緒に回したり、回覧板から地域の行事等の情報を得て、利用者とともに地区の運動会や施設の文化祭に参加されている。又、回覧板で事業所の夏祭り行事の案内をされ、多くの地域の方の参加をいただいた。	今後、回覧板を利用して、地域の方のボランティアを募集したいと考えておられる。時間や内容も詳しく示し、地域の方にも事業所にかかわっていただけるような機会を作りたいと話しておられた。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			研修会で学んだ事を運営推進会議で説明したり、個別の事案についても質問に答えたりしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>2ヶ月に1度開催されている運営推進会議で、グルー プホームの今年の目標であるレクレーションの報告を した。利用者、家族、スタッフ、交番の巡査、保健 所、学校なども参加していただく計画がある。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議では、今年の目標である「レクレーシ ョン」への取り組みについて話し合われ、出席者から いろいろなアイデアや提案をいただいている。例えば、 地域の方から、新たにできた近所の公園のことを教え ていただき、利用者と散歩に行かれるようになった り、又、出席者からの紹介でママさんコーラスの方々 が来てくださるようになった。</p>	<p>今後、運営推進会議のメンバーの協力を得て、ご家族 や地域のいろいろな立場の方等にも出席いただけるよ う、声をかけていきたいと考えておられる。グルー プホームの有用性や利用者の暮らし・認知症ケアにつ いて、広く知ってもらえるよう取り組みをすすめてい かしてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くよう に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会、GH連絡協議会（石井地区）では必ず市役 所、社協、支援センターの職員が参加され、市関係者 との協力関係は取り組んでいると思う。</p> <p>(外部評価)</p> <p>地域包括支援センター主催の石井地区のグループホ ム連絡会が発足し、同業者同士で情報交換する機会が できている。運営推進会議では、市の担当者の方に介 護制度の改正内容や感染症対策について説明いただ いた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準にお ける禁止の対象となる具体的な行為」を正 しく理解しており、玄関の施錠を含めて身 体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>施設内にマニュアルを設置し、実践でも活かし何が拘 束になるのかは現場で教育指導している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族にも身体拘束について、正しく理解をいただ けるようお話しされている。入浴時、ご自分の体をか きむしるような行為がある方に、行動を抑制するの ではなく、手袋状の身体洗いで、解消したというよ うなケースもある。</p>	<p>さらに管理者は、職員でアイデアを出し合い、車椅子 利用時、ベルトを着用しなくてもすむような工夫を考 えていきたいと話しておられた。職員が一丸となっ て利用者個々の安全と自由について話し合い、実践 につなげていかれてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修への参加をよびかけたりして、虐待が起こらないよう注意と確認を行い防止に努めている。利用者の全身状態を入浴等でチェックしている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) ミーティング時に勉強会を行い職員に担当者から説明を行った。個々の必要な利用者については、責任者と関係者等で話し合い支援できるようにしている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に責任者が十分な説明をし、納得して頂いている。疑問点・不安点については理解を得るまで何度も説明している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご意見箱を設けている。ご家族が来所されたら近況報告を兼ねて声掛けをし、意見・要望がないか聞かせてもらうようにしている。 (外部評価) ご家族の面会時には、職員が利用者の様子をお伝えし、ご家族の希望を聞き取っておられる。花見や夏祭りには、ご家族も参加されている。運営推進会議の議事録は、ご家族からの希望があれば閲覧できるようになっている。	 ご家族同士の交流の場作り等も、すすめてみてはどうだろうか。ご家族から意見を引き出し、事業所のさらなるケアの質向上への取り組みにつなげていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			月1回のリーダーミーティングと年3回の全体ミーティングを行い意見を出し合っている。	
			(外部評価)	
			ケアや業務について職員ミーティングで話し合い、取り組まれている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			年末に研修等への報告書を提出したり、勤務状況・態度を評価し査定するシステムとなっており、賞与や翌年の給与に差異があるので、職員も向上心を持って働ける職場であると思う。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修の案内等を知らせたり、個々に適正な研修を進めたりしている。また研修受講者の勤務希望を優先している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			地域のGH連絡協議会が発足、登録予定がある。相互訪問も積極的に取り入れ、サービスの質を向上させる取り組みに努めている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			ゆっくりと話を聞いたり声掛けを行い、話しやすい人間関係を築けるよう努力している。本人の望み、希望を日常会話の中から引き出す努力を怠らず、その情報をレクに生かしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	<p>家族等が意見を言い易い雰囲気を作るようにしている。又、関連医療施設より意見が言えるように説明している。</p>
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	(自己評価)	<p>アセスメントシートの活用や日常の会話や行動等で対応に勤めている。例えば、訪問マッサージを勧めたりしている。</p>
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	(自己評価)	<p>各個人の生活暦を把握し、一緒に生活しているという関係を築くよう努力している。新人スタッフの教育のマニュアルに入れ、一方的な立場にならないよう勤めている。</p>
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	(自己評価)	<p>家族に合わせながら、病院の受診等協力関係をいただいている。</p>
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	(自己評価)	<p>通信手段の活用や来所された時の施設の明るい雰囲気作りに勤めている。</p>
			(外部評価)	
			<p>利用者は、ご家族とともに馴染みの理美容室やお墓参り、友人に会いに行かれています。又、職員が同行して、法人の有料老人ホームに入居されている友人に会いに行かれることもある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士がコミュニケーション取りやすい様に会話等を援助をし、関わり合いを持てるよう努めている。身体不自由の方のケアの手伝いも安全に見守りの中で、利用者に協力して頂いている。(車椅子を押したり、椅子を引いたり)	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) いつでも相談に応じるように努めている。他施設に移った先の管理者同士の交流がある。死亡退居の家族方からの便りもある。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常のコミュニケーションの中で希望、意向の変化の把握に努めている。困難な場合、表情や動作で把握に努めている。 (外部評価) 入居の際には、生活歴等、ご家族にもお聞きし、又、日々、利用者が発する言葉や行動を記録に残して、思いの把握に努めておられる。事業所では「思いの把握は、ゴールがあるものではなく、絶えず把握していくものだ」との考えのもと、利用者個々の希望や意向を探り続けていきたいと話しておられた。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 日々の会話の中から把握に努める。過去の日常生活を色々な場面で聞きとり、その情報をスタッフ間で共有するように努力している。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 表情や動作の中から見極め、スタッフ間でも刻々と変化する現場を申し送りノートに記録していく事で情報の共有し、現状の把握に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の会話や心情から課題を見つけ、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に沿ったケアプランをたて、3ヶ月に1度は見直し、更新している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人の思いやご家族の意見を聞き、持病についての医療機関のアドバイスも踏まえ、担当職員を中心に、全職員で話し合い、介護計画を作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケース記録、自己管理表、介護日報、日誌など個別に個人の記録を必要なだけ残し、スタッフ間で情報を常に共有できその人の日常やケアプランを見直したり、状況の把握に利用している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リハビリ、透析医療チーム、栄養士、ケアマネ、などの協力があり、いつでも相談できその時々ニーズに対応できる連携が取れている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>年々、回覧板や運営推進会などでの情報交換が密になり、行事や情報が活かされ、利用者が安心して希望通りに楽しまれている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	(自己評価)	
			<p>本人、家族の希望に応じて、歯科、眼科、整形外科な どの受診ができ、主治医が目的に応じ紹介状を書き、 安心して受けられる様に支援している。</p>	
			(外部評価)	
			<p>皮膚科や眼科等のかかりつけ医への受診は、ご家族が 支援されている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	(自己評価)	
			<p>看護師が常勤し、透析医療チームや病棟の看護師にも 相談でき、体調の変化の観察や管理、適切な指導をし てもらえる。</p>	
			(外部評価)	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	(自己評価)	
			<p>看護スタッフが常勤し、介護のサマリーや口頭で日常 や状況を報告、相談に努め安心して治療でき、早期に 退院できるように双方向に協力している。</p>	
			(外部評価)	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>入居時から説明を行っており、看取りの指針がある。 本人、家族の信頼とコミュニケーションが取れている 上で、十分に状況を説明し、どの地点でも希望の選択 ができ、チームで支援に取り組んでいる。</p>	
			(外部評価)	
			<p>入居時に、重度化した場合や看取り時の支援につい て、ご家族の希望を聞き取っておられる。事業所 では、看取りの指針を作成し、看取り支援について協力 医、看護師と勉強会をされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 透析患者でも有り、常に危機感を持って業務に当たっている。カンファレンスや定期的なミーティングなどでも応急処置などの勉強会をし、突発事故などに備えている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 消防署の協力により、年2回の消防訓練に利用者も参加し全員のスタッフが協力して訓練を体験、災害時の対策を熟知している。地域との緊急時の協力も話し合っている。夜間の訓練も予定している。 (外部評価) 地域の方からの要望があり、事業所の駐車場は、地域の避難場所になっている。2階ユニットは介護度軽度の方を優先されており、普段から階段で上がり降りされている。	今後、事業所所在地域に在住する、法人内の職員や地域の方達にも声かけし、夜間を想定した避難訓練を行う予定となっていた。利用者、職員の安全と安心のためにも、いろいろな場面を想定した避難訓練を重ねていかれてほしい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) リーダー、責任者は勿論、他部署のスタッフからも適切な指導をし合い、お一人お一人のプライバシーを尊重し、言葉かけも尊厳、傾聴の対応を心がけている。 (外部評価) 食事や水分摂取制限のある利用者について、病状によってはご本人の訴えに応えられない場合もあるが、職員は、利用者への言葉のかけ方にも気を付けて対応されている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 毎日の生活の中で思いや希望を自由に表現できるようにゆとりの有る対応をして、本人が納得して自己決定をできるような雰囲気作りに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) お一人お一人のペースや希望や好みをスタッフは把握しており、その人に合わせた暮らしを提供するのが正しいと理解して実行している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 透析治療でパジャマを常時着用慣れてしまっているので、本人の好みや身だしなみのアドバイスをしながらおしゃれ心を刺激し、興味を示し表現しやすいように誘導し支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) お一人お一人のペースや希望や好みをスタッフは把握しており、その人に合わせた暮らしを提供するのが正しいと理解した上で実行している。好みやペース、間隔を考慮した配膳、下膳に勤めている。スタッフも同じものと同じ時間に一緒に食べ、楽しい食卓の雰囲気少しでも味わって頂きたいと実践している。	
			(外部評価) 朝食と日曜日の夕食は事業所で食事を作っておられるが、その他の日は、隣接の母体病院で作った腎臓病食が届くようになっている。利用者は、主菜の肉・魚が選べるようになっている。日曜日には、食べたいものを聞いて利用者と共に調理されている。	利用者ができるだけ自分で食事ができるよう、食器や自助具で工夫されてみてはどうだろうか。利用者個々が「食事を楽しむ」ための支援について、職員のかかわり方等についても工夫できることがないか、この機会に話し合ってみてはどうだろうか。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 透析治療の関係で管理栄養士によりメニューが管理され魚類と肉類の選択ができ、嗜好なども取り入れ栄養面でも定期的に健康管理がなされている。その方に必要な栄養量などを考えた適切な指導をしてくれる。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 定期的な歯科往診の予定がある。毎食後、必ずお一人お一人にうがいなど口腔ケアの声掛けをし、できない方にはスタッフが介助している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	座位が取れる限りトイレでの排泄を促し、排泄のパターンを理解しスタッフ2名必要としても、できる限り自然な排泄を協力、自立に向けた支援をしている。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	透析治療のため、やむを得ず薬の効力を使い排泄している。しかし、食事・運動・ホットパックの利用など下剤に頼らない方法についても予防と合わせて働きかけています。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	透析により隔日にしか入浴出来ないため、入れる日はなるべく好みの時間や温度調節、空調に気を配り、少しでも気持ち良く楽しめるようにしています。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	お一人お一人の習慣や好み、環境に合わせ、ときには薬もDrの指示の元で使用し、時間、明るさ、音、空調、なども配慮し安心して気持ちよい睡眠を提供している。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) お一人お一人のお薬ノートを活用し、薬局の協力もあり細かな変化や目的に合った服薬支援ができています。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) センター方式や日々のコミュニケーションから一人ひとりの生活歴や思いや願いを知るよう努め、それに即した支援ができるようにしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 外出が日常的にできる支援を施設で企画をたて実施している。利用者さんを地域の運動会や文化祭に参加させて頂いたり、利用者の希望を把握し色々な方面の協力を得ながら出かけている。	
			(外部評価) 午前・午後に散歩に出かけておられる。夕食後に散歩に出かけることもある。毎月の行事について、利用者の希望を聞くと「お寿司を食べに行きたい」との希望が多く、回転寿司へ外出に出かけている。又、大人数で出かけるのを嫌う方には、個別で散歩や買い物に出かけるようにされている。利用者からは「足湯に行きたい」との希望も出ており計画中であった。	さらに利用者個々の懐かしい場所や人を探り、出かけてみるような支援を事業所でも取り組まれてはどうだろうか。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) スタッフは本人がお金を所持したり目的に応じ、外出時に自らの希望や意思で支払ったりできる事の大切さを知っており、それらができるように支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 居室に電話があり、いつでも自由に使用できるようになっている。自分で電話が掛けられない利用者にも、職員が代わりに掛け、話せるように支援している。また、手紙については家族宛ての郵便物がある時などに併せて、手紙を書いて頂いたり代筆で気持ちをつなげ自由な通信の支援をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 共用の空間には常に季節感のある飾りつけや花などを置いたり、なるべく機械的（テレビ）人工的（消臭剤）でなく自然の風や採光を取り入れ匂いなどの不快感の無い様、清潔に心がけ居心地の良い空間を工夫している。</p> <p>(外部評価) 廊下には、利用者が車椅子での移動がしやすいようにと、物を置かないようにされている。調査訪問時、レクレーションで行った黒髭ゲームの対戦結果を張っていた。又、利用者のお好きな握り寿司の飾り付けをされたり、手作りカレンダーには、今日の日付が分かるようにマークが付けられており、それを見て今日の日付を確認される利用者も見られた。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 気の合う利用者どうしがゆったり話せるような位置関係を保ったり、それぞれが気兼ねなく過ごせる様に配慮している。</p>	
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 馴染みの物や写真を置き、家族の協力を得て、本人にとって居心地の良い、居室空間を考慮した支援や工夫をしている。</p> <p>(外部評価) ご自分で居室の掃除をされる方もある。写経をされたり、本を読んで過ごされる方もある。又、何度も聞かれる方には、治療の曜日が分かるように貼っておられた。自室の電話機を使って、ご自分で電話できるよう、自宅の電話番号を貼っている方もあった。又、外からかかってきた電話も居室に回せるようになっている。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価) ローカには障害物を置かず自由に車椅子が自走できる様に支援し、できることは、できる限り（掃除、水やり、布巾がけ）見守りの中でして頂いている。</p>	